報徳＠なう
発行人：田嶋　享

皆様への緊急のお願いです！



夏休みに入ると給食がありません。また、働きにでかけて、お昼ご飯を作る余裕もない片親の家庭も少なくありません。子ども食堂が活躍しなければならない場面です。子どもたちのために、皆様のご厚志をお願い申し上げます。

子ども食堂への支援拡充

全国食支援活動協力会と連携して

当センターが全国食支援活動協力会さん（以下：協力会　敬称略）の事業を受託して行なっている子ども食堂への支援活動は、県西2市8町だけでなく、東は茅ヶ崎市、西は沼津市、北は裾野市の地域にある約60カ所の子ども食堂を対象としています。

最初に協力会のご紹介をします。

（一般社団法人）全国食支援活動協力会は、全国各地の食支援活動団体とのネットワークをいかし、食事サービスの最新動向の発信や運営サポートを行っていられます。その事業の一環として、日本中に5千カ所以上あるとされている子ども食堂をはじめとした食支援活動団体に良質の食品を届けるための流通システムを作ろうとされてしています。同時に、こども食堂を安全に運営するための指導や情報の提供を行っていられます。

子ども食堂の多くは、規模も小さく食材は地元での寄附だけに頼っているなどいろいろの課題を抱えています。もっとしっかりした食品メーカーの製品、特にこれからは冷凍食品を使えるようにしていけば、子供達へ提供できる食事の数も増やせて内容も良くなっていきます。

そのような子ども食堂等のために、全国食支援活動協力会は全国に食品を流通させるための配送拠点を作る計画を進められていて、神奈川県では川崎市のNPOと報徳食品支援センターの2カ所が選ばれました。

協力会との具体的な仕事の流れ

まず協力会が、提供をされた食品メーカーが配布するとの連絡を当センターにされてきます。そして、その食品を希望されるかどうかを、当センターからそれぞれの子ども食堂に連絡・確認します。希望される子ども食堂には当センターに原則として引き取りに来ていただいています。取りに来ていただく事で配布対象食品に加えて、当センターの在庫の中から欲しい食品を一緒にお渡しもできます。

残念ながら、コロナ禍によって多くの子ども食堂は活動を中止せざるを得なくなりました。会場にしていた公民館などの公的施設が使えなくなったのが大きな理由です。今は、弁当を作って配ったり、食品の詰め合わせを渡したりしているところが多いです。そういう状況なので、今年初めにこの仕事を始めた時は連絡が取れない所が多くあり、今も実際には30数か所にしかお渡し出来ていません。徐々にその数を増やしていきたいと思います。

子ども食堂に食品を配る大きな目的は、生活が苦しい家庭の子供達が子ども食堂できちんとした



食事ができる事にあります。その趣旨を踏まえて子ども食堂にだけでなく、たとえ子ども食堂が開かれていなくても小田原市や開成町のひとり親会や社会福祉協議会等を通じて、そのような子ども達に食品が行きわたるように配慮しています。

夏休みを前にした7月上旬には、JA全農から提供されたお米4.2㌧を配布しました。一家庭には2kg～3kgのお米が渡されました。全国で63㌧ほどの規模の配布だったそうです。中旬冷凍されたお肉も来ます。しかし、数量が限られているので配布をどうするか頭が痛いところです。

一歩ずつ進むしかありませんが、この活動の仕組みもさらに充実させて行こうと考えています。

「おむすびころりん」さんからのたより

地域のボランティアが集まり子ども食堂を通じて子ども達を見守っていました。

現在はコロナの影響で集まって食事を楽しむことが残念ながらできません。

でも何とか子供たちの笑顔で食事をしている姿を持続させたいと思い、お弁当の配布をおこなっています。お弁当の食材は元より各家庭にお母さんにはお米、子供たちにはお菓子も報徳食品支援センターさんから提供いただき、満面の笑みで受け取られていました。

日々暗いニュースが多い中　活動を続けて良かったと思う瞬間です。

報徳食品支援センターさん　いつもありがとうございます。（会長　富田麻里様より）

（「おむすびころりん」は小田原市上府中の方々により運営されています。）



当センターは、子ども食堂「おむすびころりん」さんにも協力しています。

新しいホームページができました。

パソコン・スマホでご覧なってください

電話番号も新しくなりました。



NPO 法人　報徳食品支援センター

〒250-0212　神奈川県小田原市西大友 136-1

新しいホームページ（以下HP）で、報徳食品支援センターの最新情報にアクセスできます。食品配布の予定も確認できます。

ホームページ作成秘話

本当はいつも笑顔です



当センター　理事＆スタッフの森山美枝子です。

私自身、何故か4月から報徳食品支援センターのスタッフとして加わるところになり、まだまともに組織のこと仕事のことが理解できていない中で突然HPの立ち上げ業務を任され”鳩が豆鉄砲”状態でした。

もちろん今までにHP作成などやったこともなければ　やろうと思った事もありませんでした。パソコンが使えるわけでもないのに不安との闘いでした。HPが企業や団体の顔となっている現状ですから責任に押しつぶされそうでしたよ。

そんな葛藤の中、短時間でオープンすることが出来たのは、スタッフの団結力と根気よく面倒をみてくれたHP作成会社GIC Tokyoの皆様のおかげです　ありがとうございました。

今後　勉強しながら情報を発信していきたいと思いますので　宜しくお願い致します。

今月は、「皆様へのお願い」で始めることになりました。ところで、森山さんはパソコンもできて、優秀なスタッフです。来月は、別のスタッフを紹介いたします。

「編集担当」